

Next Step

茨城大学の次なる75年、150年に向けて、ご支援のお願い

—— 茨城大学基金を通じた“イバダイ・ビジョン2030”達成への

ご支援とご協力をお願いします ——

茨城大学は、2024年5月31日に、新制大学として創立75周年、最も古いルーツ校である拡充師範学校の創設から150年を迎えました。この75周年、150周年という節目の年を迎えることができましたのも、創立から今に至るまで本学を支えてきてくださった、多くの関係者の皆様、卒業生の皆様、地域の皆様のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

本学は、2020年度末に、10年後の大学の姿を策定した“イバダイ・ビジョン2030”を公表しました。このビジョンの目標は、「自律的でレジリエントな地域が基盤となる持続可能な社会の実現」であり、3つの行動方針、①「世界の俯瞰的理解と多様な専門分野の知の追究」、②「多様な主体を結びつける結節点としての機能強化」、③「持続可能な環境づくりのための先進的行動の展開」を掲げました。イバダイ・ビジョン2030は、これまでの本学の歴史を踏まえた、次なる75年、150年の新たな歴史をつくるキックオフの取組です。

教育面でのキックオフとして、5学部に加えて、人文社会科学部、工学部、農学部が連携する、学部相当の新たな教育組織、“地域未来共創学環”（入学定員40名）を本年4月に開設しました。

この新しい教育組織で、学生たちは、ビジネス、データサイエンス、ソーシャル・アントレプレナーシップを身に付け、企業・自治体での長期有給実習（コーポ実習）で学びを実践し、地域の未来を切り拓く挑戦者になることを目指します。

さらに、本学が注力することは、人口減少が進む我が国において、学生たち一人ひとりが身に付ける“生きる力”の向上です。その取組の一環として、この4月から全学生に“スチューデントサクセス”を提示し、「サクセス」とは、良い成績で卒業することだけではなく、“自己実現（なりたい自分になる）”の力を身に付けること、と説きました。今後は、その各自のサクセスストーリーづくりを支えるために、海外を含めた学外での実践的な学びに挑戦するIOPプログラム（Internship Off-campus Program）を強化していきます。さらに、本年4月からは、専門分野以外に“自分にもう一つの強みを付ける”というメッセージを込めた「プラス1（アイ）プログラム」（6プログラム：サステナビリティ学、数理・データサイエンス・AI、アントレプレナーシップ、グローバルコミュニケーション、地域志向教育、日本語教員養成）を学部横断で開設しています。

研究面でのキックオフは、“総合気候変動科学”と“総合原子科学”の立ち上げと推進です。“総合気候変動科学”とは、気候変動対応の「適応策」「緩和策」の両軸の研究を相互作用させる新たな学問分野です。この総合科学の目標は、これからの持続可能な社会の形成への貢献であり、国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）やその後に想定される“ポストSDGs”を視野に入れながら、本学が地球環境のサステナビリティを追求する世界的な研究拠点になることです。

“総合原子科学”では、エネルギー技術や原子・物質・生命科学を融合的に推進する「原子科学」の先進的な研究と高度専門人材の育成を進めていきます。そのスタートとして、本年4月に原子科学研究教育センター（RECAS：Research and Education Center for Atomic Sciences）を開設しました。このセンターでは、学内外の研究施設群との共同研究や社会・地域との連携、新たなプロジェクトの企画・立案を進める「社会／地域課題共解決室」を設けています。RECASは、これからのエネルギー問題に関する社会のニーズの把握・分析や地域コミュニケーションのハブとしての役割を果たしていきます。

以上に述べた教育研究を展開して、本学は“イバダイ・ビジョン2030”の達成に邁進していきます。皆様方には、本学の教育研究活動をご理解頂き、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

茨城大学 学長

太田寛行

ご寄附の使途・支援事業

Next Step

一般基金

茨城大学における教育・研究及び社会連携、学生生活環境整備など本学で行われる様々な活動をご支援いただくための基金となっております。

また、各キャンパス、学部へのご支援や附属学校園へのご支援など、支援先のご指定がある場合は、寄附者のご意向に沿って活用させていただきます。

主な支援事業

- ①教育研究支援 ラーニングcommons等の自習スペースやキャンパス内施設等の環境整備など
- ②社会連携支援 アントレプレナーシップ教育プログラムへの支援など
- ③学生生活環境支援 課外活動施設の改修整備の支援など
- ④附属学校園支援 児童・生徒の教育活動の充実化を目的とした各種活動の支援など



修学支援事業基金 ※税関控除対象基金

経済的事情により学業の継続が難しい学生を支援するための基金です。社会情勢の変化や家計の急変などによって、生活困難に陥り、自らが望む学修活動に困難を来している学生たちのために、経済的な支援を行っています。



研究等支援事業基金 ※税関控除対象基金

学生やポストク等の若手研究者に対する研究支援や研究者としての能力向上を目的とした支援のための基金です。安定した研究活動を行うための支援、研究成果を発表するために必要な経費や、異なる分野や研究実績のある研究者との交流を促進するための費用などの支援を行っています。

国際交流・留学生支援基金

国際社会では、自らの考えを自らの言葉で話す力が求められます。より多くの学生が、世界に飛び出し、積極性と表現力を身に付けられるよう、学生の国際交流・留学の機会を支援を行っています。

また、本学に学ぶ機会を求めている外国人留学生在が、安心して学修できる環境を整えるとともに、日本での生活全般について支援を行っています。

図書資料および学習環境事業基金

大学図書館は、「学術情報の基地」という重要な役割を果たしています。本学図書館では、分館を含め、100万冊を超える図書・雑誌を所蔵し、広く地域社会の皆様に開かれています。

本基金では、学生用図書や雑誌の更なる充実や情報社会に対応したふさわしいサービスの提供など、必要な環境整備の支援を行っています。

特定基金

様々な方法によるご寄附

Next Step

古本等(書籍、DVD、CD等)の売却によるご寄附

ご不要になった古本やCD・DVD、ゲームソフト等の売却により、その買い取り額をご寄附いただけます。買い取りは、全て提携企業の載りレビューブックスによるチャリボンにて行いますので、古本等を大学に運搬する手間や売上の振込みも不要となります。5冊以上の売却で送料無料で自宅での引き取りも可能となります。

※ISBNのない本、百科事典、コンビニコミック、個人出版の本、マンガ雑誌、一般雑誌は取扱いできません。一部の専門書を除き、10年以上前(2010年以前)に出版された本のはほとんどが寄附になりません。詳しくは、茨城大学基金ホームページ(裏表紙のお申込先)からお手続きをお願いします。

遺贈によるご寄附

遺贈とは、ご存命中に遺言書を作成し、その遺言書に則って、遺産の一部を寄附することです。

ご寄附いただいた財産については、税制上の優遇措置を受けることができますので、原則として相続税が非課税となります。

遺贈をお考えの方は、本学提携の銀行をご紹介いたしますので、社会連携課にご相談ください。

支援活動のご報告

これまでに茨城大学基金を活用し、実施した事業は、茨城大学基金ホームページにて、ご報告しております。

<https://www.ibaraki.ac.jp/fund/report/use/>



茨城大学基金賛助会員制度

Next Step

賛助会員制度とは？

茨城大学基金の賛助会員となり、継続的なご寄附（会費）を通じて本学をご支援いただく制度です。個人会員の方は、毎月1千円（年間1万2千円）以上から、法人・団体会員の方は、毎年1口・5万円からの金額でご入会いただくことができます。会員の方には、様々な特典をご用意しています。寄附金は、税制上の優遇措置を受けることもできます。茨城大学をより身近に感じていただくことができる制度です。

特典

入会いただいた皆様へ感謝の意を込めまして、茨大グッズや農学部産産物の送付等、様々な特典をご用意しております。

※特典内容は、都合により予告なく内容を変更する場合があります。また、入会時期により、特典の発送時期が異なります。予めご了承ください。

会員区別	会費（年間寄附額）	主な特典
個人	1万2千円以上	茨大グッズ（Aコース）【入会時のみ】
		茨大カレンダー
	3万6千円以上	茨大グッズ（Bコース）【入会時のみ】
		茨大カレンダー、農学部産産物（年1回）
	6万円以上	茨大グッズ（Cコース）【入会時のみ】
		茨大カレンダー、農学部産産物（年2回）
法人・団体 （1口5万円）	5～45万円 （1口～9口）	茨大グッズ（A+Bコース）【入会時のみ】
		茨大カレンダー、基金ホームページへの企業ロゴ掲載
	50万円以上 （10口以上）	茨大グッズ（Cコース）【入会時のみ】
		茨大カレンダー、大学ホームページへの企業ロゴ掲載

賛助会員特典の例

（写真はイメージです）



茨大カレンダー（非売品）



茨大グッズ（Aコース）



茨大グッズ（Bコース）



茨大グッズ（Cコース）



農学部産産物

賛助会員制度Q&A

Q1 これまでのように賛助会に入会せずに継続寄附を続けることは可能ですか？

A1 これまでどおり、賛助会に入会せずに継続寄附をしていただくことも可能です。ただし、賛助会員制度の特典は、賛助会員制度へご入会いただいた場合のみとなります。

Q2 寄附の使途は選べますか？

A2 一般基金と特定基金の全ての使途からお選びいただけます。詳細については、本パンフレットの「ご寄附の使途・支援事業」をご参照ください。

Q3 茨城大学基金の顕彰制度の対象になりますか？

A3 賛助会員制度でのご寄附も通常の寄附と同じように顕彰制度の対象となります。通常寄附も行っている方は、賛助会員制度との合計を累計額とさせていただきます。詳細については、本パンフレットの「ご寄附への感謝」をご参照ください。

Q4 税制上の優遇措置は受けられますか？

A4 会費は寄附の扱いとなり、税制上の優遇措置が受けられます。詳細については、本パンフレットの「ご寄附による税制上の優遇措置について」をご参照ください。

Q5 特典の農学部産産物とはどのようなものですか？

A5 作付け状況により内容は変わりますが、その時々の手製の野菜や果物等をお送りします。年1回の方は、4月～6月頃、年2回の方は、4月～6月頃および、10月～12月頃にお送りします。なお、送付時期は予定となりますことご了承ください。

茨城大学基金へのお申込・払込方法について

本学基金へのお申込は、茨城大学基金ホームページを利用した手続きが大変便利です。払込票を使ったコンビニエンスストアでの払込(30万円以内)、銀行振込やクレジットカード決済もご選択いただけます。インターネットを利用できない場合は、本書に添付された申込書に必要事項をご記入の上、のり付けし、そのままポストにご投函ください。後日コンビニエンスストアでご利用いただける払込票を郵送します(手数料無料)。

●個人寄附の方：1,000円～ ●法人寄附の方：10,000円～

お申込みは、こちらです。

茨城大学基金ホームページ
<https://www.ibaraki.ac.jp/fund/application>

茨城大学 基金

検索



ご寄附による税制上の優遇措置について (2024年5月時点)

□個人寄附の方

所得税の優遇措置

本学へのご寄附については、「寄附金控除」の対象となり、確定申告を行うことで、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄附金控除には、「所得控除」と「税額控除」があります。「税額控除」は、本学の「修学支援事業基金」または「研究等支援事業基金」にご寄附をいただいた方に限り、控除を受けることができます。確定申告の際に、「所得控除」と「税額控除」のどちらか一方の有利な制度を選択することができます。

所得控除

所得控除^{※1}

$$\begin{array}{c} \text{所得金額} \\ \text{(年収)} \end{array} - \begin{array}{c} \text{諸控除(扶養控除等)} \\ + \\ \text{(寄附金控除)寄附金額}^{\text{※2}} - 2,000\text{円} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{税率} \\ \text{(所得に応じた率)} \end{array}$$

所得控除

税額控除

$$\begin{array}{c} \text{所得金額} \\ \text{(年収)} \end{array} - \begin{array}{c} \text{諸控除} \\ \text{(扶養控除等)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{税率} \\ \text{(所得に応じた率)} \end{array} - \begin{array}{c} \text{控除対象額}^{\text{※3}} \\ \text{(寄附金額}^{\text{※2}} - 2,000\text{円)} \\ \times 40\% \end{array}$$

※1 所得控除は、茨城大学へのすべての寄附金が対象となります。

※3 寄附金控除対象額は、その年の所得税額の25%が上限です。

※2 控除対象となる寄附金額は、その年の総所得額等の40%が上限です。

住民税の軽減^{※4}

寄附をした翌年1月1日時点でお住まいの都道府県・市区町村が、条例で茨城大学を寄附金控除の対象法人として指定している場合^{※5}、個人住民税額の寄附金税額控除を受けることができます。

(寄附金額 - 2,000円) × 控除率 (都道府県民税: 4%、市区町村民税: 6%)

※4 控除を受けられる寄附金額は、総所得額等の30%が上限です。

※5 寄附金税額控除対象と指定されているかは、お住いの自治体のホームページをご確認ください。

□法人寄附の方

法人税法上の全額損金算入が認められる指定寄附金として、法人の所得から控除されます。

～ご寄附への感謝～

本学基金では、ご寄附をいただいた皆様方に感謝の意を込めまして、寄附金額に応じた顕彰制度を設けております。

- ウェブサイトへの芳名掲載【全寄附者対象】※掲載希望者のみ
- 大学からの定期的な情報提供【全寄附者対象】
- 学長懇親会へのご招待【ゴールドカテゴリー対象】
- 記念品の贈呈【シルバーカテゴリー以上対象】
- 感謝状の贈呈【ブロンズカテゴリー以上対象】
- 寄附者銘板への芳名掲載【ブロンズカテゴリー以上対象】※掲載希望者のみ

寄附金累計額

	寄附金累計額	
	個人	法人・団体
ゴールド	100万円以上	500万円以上
シルバー	50万円～ 100万円未満	200万円～ 500万円未満
ブロンズ	10万円～ 50万円未満	50万円～ 200万円未満

お問合せ
お申込

国立大学法人茨城大学 研究・社会連携部 社会連携課

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1

TEL: 029-228-8781 FAX: 029-228-8495

URL: <http://www.ibaraki.ac.jp/fund/> E-mail: kikin@ml.ibaraki.ac.jp

